中2 歴史 近世 一問一答（20問）　版E

なまえ：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　日づけ：＿＿＿＿＿＿＿＿

問いの答えを、右の欄に書きましょう。

(1) アフリカ南端の喜望峰を回って、1498年にインドに着いたポルトガルの航海者はだれか

(2) 16世紀半ばに、中国船に乗ったポルトガル人が流れ着き、日本に鉄砲が伝わった鹿児島県の島を何というか

(3) 太閤検地と刀狩によって、武士と農民の身分の区別がはっきりしたことを何というか

(4) 宗教改革に対抗して、カトリック教会の中でつくられ、アジアなどに宣教師を送った団体を何というか

(5) 1575年に、織田・徳川の連合軍が鉄砲を有効に使って武田勝頼の軍を破った戦いを何というか

(6) 江戸幕府が、年貢の納入や犯罪の防止に連帯で責任を負わせるため、百姓や町人を5戸ずつまとめたしくみを何というか

(7) 江戸時代の初め、幕府から渡航を許す朱印状を与えられた船が、東南アジアなどで行った貿易を何というか

(8) 1637年に、キリスト教徒への迫害と重い年貢に苦しんだ人々が、天草四郎を大将にして起こした一揆を何というか

(9) 1600年に、徳川家康が石田三成らの軍を破り、全国支配の実権をにぎった戦いを何というか

(10) 江戸時代の大名のうち、徳川家の一族の大名を何というか

(11) 8代将軍が、民衆の意見を聞くために江戸の評定所の前に置いた箱を何というか

(12) 江戸時代に、米の値段が上がって生活に苦しんだ都市の人々が、米を買い占めた商人の家などをおそったことを何というか

(13) 江戸時代の商人や手工業者がつくった同業者の組合で、営業を独占したものを何というか

(14) 18世紀の終わりに寛政の改革を行った老中はだれか

(15) 働き手を作業場に集めて、分業で製品をつくる生産のしかたを何というか

(16) 生類憐みの令を出し、学問を重んじる政治を行った江戸幕府の5代将軍はだれか

(17) 『古事記伝』を書いて国学を大成した人物はだれか

(18) 人形浄瑠璃の脚本家で、『曽根崎心中』などを書いた人物はだれか

(19) 全国の沿岸を歩いて測量し、正確な日本地図をつくった人物はだれか

(20) 江戸時代に、町人や百姓の子どもが読み・書き・そろばんを学んだところを何というか